

第24回 文学館演習 —日本近代文学資料の探索と処理— 2022年度募集要項・スケジュール表

日時 2022年8月23日(火)～27日(土)の5日間 各日 午前10:00～午後5:15(但し初日は変則的な時間割となります。)

※単位とする場合、1日4コマ(1コマ90分)計20コマ(30時間)・2単位。評価はレポート、実習などによります。

受講料 20,900円(当館維持会会員・友の会会員は18,800円)

定員 20名

申込方法 (1) 博物館実習としない方(先着順。2022年5月1日以降受け付けます)

①郵便番号・住所・氏名・電話番号 ②職業(学生は大学または大学院名・学部・学科・専攻名・学年)を明記し「文学館演習希望」と件名をつけてメールでお申込みください。なお、日本近代文学等の単位とする方は、その単位名を明記してください。

(2) 博物館実習とする方(抽選制。2022年4月1日～30日まで受け付けます)

2022年4月1日～30日までに(必着)に「博物館実習希望」の旨と上記①②を明記し、メールにてお申込みください。

受入れの可否は5月1日以降お知らせいたします。申込み多数の場合は抽選とし、一大学(大学院含む)最大3名までとします。

ご注意 新型コロナウイルス感染拡大の場合、開催を見合わせる可能性があります。開催中止に伴う代替実習は今年度当館では実施いたしません。その場合、日本近代文学館での博物館実習の単位の取得、近代文学の単位の取得が今年度不可能になります。単位取得を目指しておられる方は、その点をご了承の上、お申し込みください。

申込・問合せ先 Mail ensyu@bungakukan.or.jp TEL. 03(3468)-4181

〒153-0041 目黒区駒場4-3-55 日本近代文学館「文学館演習」係

内容・講師

これまで、学習院大学大学院、埼玉大学大学院、成城大学大学院、日本女子大学大学院、梅光学院大学大学院、福岡女子大学大学院、佛教大学大学院、武蔵大学大学院…等で単位認定を受けています

	1時限(10:00～11:30)	2時限(11:45～13:15)	3時限(14:00～15:30)	4時限(15:45～17:15)
23日(火)	<総論> (1)オリエンテーション ★10:00～10:40 (2)近代文学館とは ★10:50～11:50 中島国彦(館理事長)	<総論>★12:00～13:10 日本近代文学館の所蔵資料とその意義 紅野謙介(日本大学特任教授)	<文学をめぐる問題> 文学と大衆(講義・演習) 宮内淳子(近代文学研究者)	<資料の収集と活用> 資料を活用する研究法(講義・演習) (2)図書 須田喜代次(大妻女子大学名誉教授)
24日(水)	<資料の収集と活用> 資料を活用する研究法(講義・演習) (3)雑誌 宗像和重(早稲田大学教授)	<資料の収集と活用> 図書・雑誌の利用①(実習) (事務局)	<資料の収集と活用> 資料を活用する研究法(講義・演習) (1)自筆資料(書簡・ノート) 安藤宏(東京大学教授)	<文学の周辺(1)> 文学と映画(講義・演習) 十重田裕一(早稲田大学教授)
25日(木)	<資料の収集と活用> 資料を活用する研究法(講義・演習) (4)新聞 山田俊治(横浜市立大学名誉教授)	<資料の保存・公開・展観> 資料の公開・展示(実習) (事務局)	<文学をめぐる問題> 海外における日本文学の研究(講義・演習) 和田博文(東京女子大学教授)	<文学の周辺(2)> 書画と文学(講義・演習) 伊藤一郎(東海大学名誉教授)
26日(金)	<文学の周辺(1)> 出版メディアの戦略・検閲(講義・演習) 紅野謙介(日本大学特任教授)	<資料の収集と活用> 挿絵・写真資料の調査・保存(実習) (事務局)	<資料の保存・公開・展観> 資料の保存・修理(実習) (事務局)	<資料の保存・公開・展観> 資料の公開・図録(実習) (事務局)
27日(土)	<資料の収集と活用> 肉筆資料の解説(実習) (事務局)	<資料の収集と活用> 図書・雑誌の利用②(実習) (事務局)	<文学の周辺(2)> 文学と美術・音楽(講義・演習) 中島国彦(館理事長)	<総括> 日本近代文学館に対する要望(質疑応答) 中島国彦、事務局